



地域リーグの加盟について

Vol.01 20190701

新ボールの対応について

■下記の大会では新ボールを採用します。

- 地域リーグ
- 全日本社会人OAバスケットボール選手権大会
- 全日本社会人バスケットボール選手権大会
- 全日本社会人バスケットボール選手権大会各ブロック予選
- 全日本社会人バスケットボール地域リーグチャンピオンシップ

2020年度からはすべてのJSB主催大会で採用



**7月上旬（予定）ごろに各ブロックに
各サイズ・各3個支給します。**

支給されたボールを大会球として使用して下さい

品名：BG5000

7号／品番：B7G5000

6号／品番：B6G5000

**JSB****JAPAN SOCIETY BASKETBALL FEDERATION**

一般社団法人 日本社会人バスケットボール連盟

登録・大会エントリー・ゲームエントリーについて

登録

JBAの選手登録管理システムへの登録すること

大会エントリー

登録した選手を大会出場のために申し込む（受付）こと

ゲームエントリー

大会エントリーした選手の中からメンバー表に記載する選手

●各種大会のエントリーについて



※チームで登録できる人数を上限18名に定める

※シーズン中の追加&変更は無制限

※個人は1回のみ移籍可能

選手の登録期間・大会のエントリー規定

■選手登録・移籍期間（各リーグ戦の大会エントリー）

- 地域／同年10月末日まで

■ブロック大会・全国大会に出場できる選手の大会エントリー規定

チャンピオンシップは下記の期間内に登録を完了してください。

- 全日本社会人バスケットボール選手権大会チャンピオンシップ／同年10月末日まで

地域リーグ（2019年度より）

スタッフ・選手の追加・抹消について

1. 抹消する場合

- 「申請書」とTEAM-JBAの「メンバー表出力」の2ファイルを地域リーグ専用アドレス（chiiki@jsb-basketball.or.jp）に添付して送信する。
- 担当者より受理完了のメールを受け取って手続きが終了。

2. 追加する場合

- 試合に出したい3日前14:00まで（土曜日試合の場合は水曜日まで）に「申請書」とTEAM-JBAの「メンバー表出力」の2ファイルを地域リーグ専用アドレス（chiiki@jsb-basketball.or.jp）に添付して送信する。
- 担当者より受理完了のメールを受け取って手続きが終了。

3. 抹消と追加を同時に行う場合（入替）

- 試合に出したい3日前14:00まで（土曜日試合の場合は水曜日まで）に「申請書」とTEAM-JBAの「メンバー表出力」の2ファイルを地域リーグ専用アドレス（chiiki@jsb-basketball.or.jp）に添付して送信する。
- 担当者より受理完了のメールを受け取って手続きが終了。

抹消・追加の公示はJSB公式サイトのみ

登録スタッフの名称の統一

各チームによってスタッフの名称が違うので下記で統一する、1名につき1役職まで（兼任を認めない）

- 部長 ●監督 ●コーチ ●アシスタントコーチ ●マネージャー ●トレーナー

※ 部長・監督・コーチは1チーム必ず各1名のみ（コーチはライセンス保持者）

※ アシスタントコーチ・マネージャー・トレーナーに人数制限は設けない

登録および移籍について①

JBA基本規程・第5章 登録および移籍

登録Ⅰ種：契約選手（JBA基本規程第97条〔選手契約〕に定めるところにより、所属チームと契約を締結した選手）

登録Ⅱ種：契約選手以外 ※社会人連盟では登録Ⅱ種契約が多いと推定しています。

○移籍の考え方

登録Ⅱ種の選手から他のチームへ移籍したい旨の申出があった場合、チームは、当該移籍について異議申し立てすることができません。ただし、チームと選手の間で「登録Ⅰ種：契約選手」を締結している場合は契約が優先されます。

また登録Ⅱ種の選手からチーム登録の「抹消」の申請があった場合は**7日以内**にチームの代表者は抹消の手続きを完了しなければなりません。

選手が移籍を希望した場合は移籍元とチームは原則拒むことはできません。

Bリーグ・WJBLの選手の扱いについて

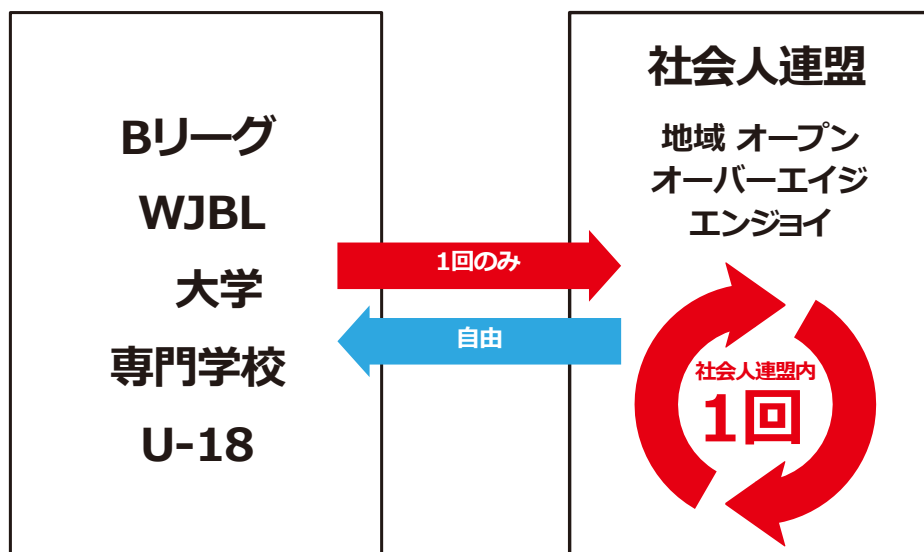
●前年度にBリーグ・WJBLに登録されていた選手はチームとの「契約満了後」「契約解除後」に「地域・オープン・オーバーエイジ・エンジョイ」に登録可能です。

●同年度にBリーグ・WJBLに登録されていた選手はチームとの「契約満了後」「契約解除後」に「地域・オープン・オーバーエイジ・エンジョイ」に登録可能です。

登録および移籍について②

JBA基本規程・第5章 登録および移籍

- 社会人連盟への移籍、社会人連盟内での移籍を1回のみ認めます。
- 都道府県内、他都道府県内、地域リーグ登録同士も含め1回のみ移籍を認めます。



- 他カテゴリーから社会人連盟へ移籍してくる時は1回とカウントする
 - 社会人連盟から他カテゴリーに移籍した時はカウントしない。
 - すでに全国大会予選に登録された場合はリーグ戦のみ参加になります。
- ※全国大会予選／インカレ・インターハイ・WC・全国専門(AJ予選は除くが他のAJ予選には出られません)

外国籍の選手について

■外国籍の選手登録は地域リーグは登録2名コート1名。

JBA基本規程 第110条〔外国籍選手の登録〕に準じます。

- 日本と在籍国間の相互免除により査証を有しない外国籍選手および観光査証により来日している外国籍選手は登録できません。
- 日本国籍を持たなくとも「教育基本法」「学校教育法」で定める日本での小学校教育及び、中学校教育・中等教育学校の前期部分(義務教育)を修了したものは、日本人選手と同等とみなします。
- 留学生は外国人選手とする。
- 各都道府県社会人連盟および協会は外国籍選手に関しては下記を確認してください。
 - (1) 入国および滞在を証明する入国査証等の写し
 - (2) 入国および滞在を証明する入国査証等の写しの確認が困難時は宣誓書を確認する

外国籍選手の必要書類について

新システムでは登録時に必要な書類をシステム上にアップロードすることになります。

※アップロードできるだけで連盟の担当者が承認などのコントロールはできませんが、担当者が簡単に確認できるようになります。

各都道府県連盟の登録責任者は外国籍選手の必要書類をTEAM-JBAで必ず確認して下さい。

外国籍の選手について

外国籍選手の必要書類について

外国籍選手の必要書類について

新システムでは登録時に必要な書類をシステム上にアップロードすることになります。

※アップロードできただけで連盟の担当者が承認などのコントロールはできませんが、担当者が簡単に確認できるようになります。

各都道府県連盟の登録責任者は**外国籍選手の必要書類をブロック大会時は
TEAM-JBAで必ず確認して下さい。**



関係書類がアップロードされていない時は大会に参加出来ない
原則はTEAM-JBAで申込み締めきり時まで（申込時にアップロードされていないと参加出来ない）

2019バスケットボール競技規則について

JSBでは各種全国大会・各種ブロック大会・地域リーグは2019バスケットボール競技規則を完全採用します。
ただし、各都道府県予選・各都道府県リーグ戦についてはユニホーム規程に関しては各都道府県の社会人連盟の裁量に任せます。

特に下記にルールに関して各大会での徹底をお願いします。

4-3 ユニフォーム

4-3-1

- シャツの下にTシャツを着ることは、いかなるスタイルであっても認められない
- ソックスは、全てのチームメンバーが同じ主となる色でデザインされたもの、ソックスは見える状態ではない。
 - ※ユニホームと同色でなくても良い。
 - ※長さは不揃いでも構わない。
 - ※サポーターでソックスが見えなくなる場合、出来るだけソックスが見える状態にしてください。

4-4 その他の身につけるもの

4-4-2 プレーヤーは、他のプレーヤーに怪我をさせる可能性があるものを着用してはならない。

- 次のものは身につけても差し支えない：
 - － 腕や脚のコンプレッションスリーブ
 - － 膝の装具で、適切にカバーされているもの
 - － リストバンドやヘッドバンドは、最大10cmの幅で、繊維素材のもの
- 同じチームの全てのプレーヤーの、腕や脚のコンプレッションスリーブ、ヘッドギア、リストバンド、ヘッドバンド、テーピングは**全て同じ単色**でなければならない。

**※ すべての身につけるものは、同じチームのプレーヤーは同じ色を着用しなければならない。
(黒色か白色あるいはユニフォームと同じ主となる色のもの)**

体育館の設備で暖房等が無い場合は大会主催の決定によりユニフォームの下にコンプレッションの半袖・長袖のシャツの着用を認めます。
ただし、色に関しては白か黒かユニフォーム色でチーム内にて統一とすること
またライン・柄などは認めない。メーカーロゴは1カ所のみOKとします。

※暖房が設備がある体育館では原則認めない。

2019ルールの変更点

ユニフォーム（4-3）

目的：詳細を追加する。

変更点：

- **シャツとパンツは同じ主となる色**でなければならない
- シャツに袖がある場合は肘より上まででなければならない。長袖は認められない
- **ソックスは見える状態で**なければならない
- シューズは色の組み合わせは自由であるが、**左右は必ず同じものでなければならない**。点滅するライト、反射素材やその他の装飾物は認められない

チームの身につけるもの（4-4）

目的：詳細を追加する。

変更点：次のものは身につけても差し支えない：

- 腕のコンプレッションスリーブで、黒色か白色あるいはシャツと同じ主となる色のもの。ただし、同じチームのプレーヤーは同じ色を着用しなければならない。
- 脚のコンプレッションスリーブで、黒色か白色あるいはパンツと同じ主となる色のもの。ただし、同じチームのプレーヤーは同じ色を着用しなければならない。
- ヘッドギアで、黒色か白色あるいはシャツと同じ主となる色のもの。ただし、同じチームのプレーヤーは同じ色を着用しなければならない。
顔の一部（目、鼻、唇等）もしくは全部を覆うものは、着用するプレーヤーもしくはその他のプレーヤーに危険なものであってはならない。
また顔や首の開閉部分や表面に突起物があってはならない。
- **リストバンドで、幅は最大10cm、繊維素材でできた黒色か白色あるいはシャツと同じ主となる色のもの。**
ただし、同じチームのプレーヤーは同じ色を着用しなければならない。
- 腕や脚等のテーピングで、黒色か白色あるいはシャツと同じ主となる色のもの。ただし、同じチームのプレーヤーは同じ色を着用しなければならない。
※ただしキネシオテープなどの肌色のテープは対象外とします。
- **足首の装具で、透明か黒色か白色のもの。ただし、同じチームのプレーヤーは同じ色を着用しなければならない。**
※すべての身につけるものは、同じチームのプレーヤーは同じ色を着用しなければならない。（黒色か白色あるいはユニフォームと同じ主となる色のもの）

リバーシブルのユニホームについて

リバーシブル



JBAの競技規則では

4-3-3 各チームは、シャツを2セット以上用意しておかなければならない。

となっているリバーシブルのユニホームは不可となります。※リバーシブルを濃淡2着用意することはOK
ただし、各都道府県の大会についてはユニホーム規程に関しては各都道府県の社会人連盟の裁量に任せます。

身につけることができないもの

×色付きのライン



×色違い



×単色では無い



×単色では無い



※ただし単色のサポーターや単色のコンプレッションの下に身につけることは可能

※ワンポイントのロゴはOK

×無色透明では無い



×色は統一だが、ユニホームと同色ではない



×単色では無い



×シャツが出ている



※ワンポイントのロゴはOK

コーチライセンスについて

JBAの方針によりコーチライセンスが必須になります。

2019年度は移行期間とし2020年度より完全実施

■ C級

- 全日本社会人地域リーグ（将来的にはB級が必須になる）

■ D級

- 全日本社会人選手権大会／ブロック予選
- 全日本社会人OA選手権大会／ブロック予選

■ E級

- 日本社会人レディース交流大会

■ TeamJBAでのチーム登録

- チーム登録時に **E級以上** 必須とする。

各都道府県大会・リーグ戦などで大会当日にベンチにいない場合の対応は
各都道府県の裁量に任せる。

大会申込時にコーチライセンスを取得済みであること（見込みは不可※JBA規程変更）

各大会におけるコーチライセンスの適用基準について（2019年度～）【新旧比較版】

<p>＜表の見方＞</p> <p>赤字：移行（2018年度基準）</p> <p>赤字：今回の変更点 ※今回承認いただきたい変更点</p>	<p>＜主な変更点＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・E-2級-E-1級の表記は「E-2級またはE級」、「E-1級またはE級」に変更 ・U15選手権を追加 ・団体については、団体開催基準事項の改定に伴い、5月末までに登録済み必須であることを追記 ・コーチの新規・昇格は年間を通して随時可能となることから、特別措置の①を削除
--	---

各大会においてベンチで指揮をとる(スコアシートにサインする)コーチは必要資格を保有していることとする。

カテゴリー	サブカテゴリー	大会名	全国レベル	ブロックレベル	都道府県レベル	地区レベル
一般	—	天皇杯・皇后杯 全日本選手権大会	D級			
	—	国民体育大会	C級(*1)(*)4	C級(*1)(*)4		
	—	B1リーグ	HC: S級(*1) AC: B級(*1)			
	—	B2リーグ	HC: A級(*1) AC: B級(*1)			
	—	B3リーグ	HC: B級(*1) AC: C級(*1)			
	—	Wリーグ	HC: S級(*1) AC: B級(*1)			
	社会人	全日本社会人地域リーグ (チャンピオンシップ)	C級	C級		
	—	全日本社会人選手権大会	D級	D級	E-1級→E-1級またはE級	
	—	全日本社会人O-40/O-50選手権大会	D級	D級	E-1級→E-1級またはE級	
	—	日本社会人レディース交流大会 (東地域・中地域・西地域)		E-1級→E-1級またはE級	E-1級→E-1級またはE級	E-2級またはE級
大学	—	都道府県リーグ			E-1級→E-1級またはE級	E-2級またはE級
	一般	日本スポーツマスターズ	C級(*1)			
	教員	全日本教員大会	C級	記載削除（大会の改編による）		
	大学	全日本大学選手権大会(インカレ)	C級	C級(*2)		
	—	(上記以外)の大会	C級	(*)3	(*)3	
	専門学校	全国専門学校選手権大会	E-2級→E-2級またはE級	E-2級→E-2級またはE級	E-2級→E-2級またはE級	
	—	(上記以外)の大会	E-2級→E-2級またはE級	E-2級→E-2級またはE級	E-2級→E-2級またはE級	E-2級→E-2級またはE級
	高校	全国高等学校選手権大会 (インターハイ)	D級		D級(*3)	(*)3
	—	全国高等学校総合体育大会 (インターハイ)	(*)3		(*)3	(*)3
	—	全国高等学校定時制通信制大会	(*)3	(*)3	(*)3	
U18	—	全国高等学校選手権大会	C級	(*)3		
	—	都道府県リーグ			E-2級→E-2級またはE級	E-2級またはE級
	—	(上記以外)の大会		(*)3	(*)3	(*)3
	U15	都道府県対抗ジュニア大会 (ジュニアオールスター)	C級	記載削除（大会の改編による）		
	—	全国U15選手権大会	D級		D級	D級(*3)
	—	全国中学校大会	(*)3	(*)3	(*)3	(*)3
	—	都道府県リーグ			E-2級→E-2級またはE級	E-2級またはE級
	—	(上記以外)の大会		(*)3	(*)3	(*)3
	U12	全国三大会	D級(*1)		E-2級→E-2級またはE級	E-2級→E-2級またはE級
	—	ブロック大会		E-1級またはE級	(*)3	(*)3
U12	—	都道府県リーグ			E-2級→E-2級またはE級	E-2級またはE級
	—	(上記以外)の大会		E-1級またはE級	(*)3	(*)3

【特別措置】 ① 要請者(選手)が当該ライセンスの講習会を受講し、修了している場合は、移行期間中に限り、E-2級またはE-1級の資格を有するものとする。② 指導実績1年目以降に免除とする。

【備考】 (*1) 特別措置なし
(*2) 全国大会に通じるレベル
(*3) ライセンスを取得していることが望ましい
(*4) 国民体育大会開催基準事項に基づき、5月末までに登録済みであることが必須

コーチライセンス運用について

大会時のコーチライセンス運用について下記の手順で行いますので、御対応の程よろしくお願いします。

●コーチとは

- 試合中実際に指揮を執る者
- 各大会で定められたJBA公認ライセンスを有すること
- 試合前にスコアシートにサインする者
 - ※監督、部長、アシスタントコーチはスコアシートにサインできません。
- 大会プログラムのコーチ名**と上記は同一人物になるように大会の申込みをすること
- 試合前にスコアシートにサインする際にアシスタントコーチを指定すること

●コーチが選手として試合出場する場合は

- コーチが選手として出場している時間はアシスタントコーチがコーチの任務と権限を引き継ぐ。
 - ※2019競技規則 第7条6
- コーチが試合に出場してる時間は選手として扱われる。
 - ※コーチ兼選手が選手として出場中にテクニカルファウルが宣された時は選手のテクニカルファウルとして扱われる、審判が交代選手を招き入れた後にコーチ兼選手がテクニカルファウルを宣された時はコーチのテクニカルファウルとして扱われる
- アシスタントコーチも選手として出場している時間はベンチに残っている者がタイムアウトをTOへ請求できる。※JSBのみ特別ルール

コーチライセンス運用について

試合時のコーチライセンス運用について下記の手順で行いますので、御対応の程よろしくお願いします。

①大会運営はスコアシートのコーチの欄にパンフレットの「コーチ」の名前を記載する。

※パンフレットのコーチから試合当日のコーチを変える場合はJBAの下記の申請書を大会本部へ提出し、許可を得ること。

●各大会におけるコーチライセンスの適用基準について

<http://www.japanbasketball.jp/coach/license/>

●大会中のコーチ資格保持者不在による報告書（大会参加チーム→大会主催者）

http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/coach_licenseStandard_report1.pdf

●大会中のコーチ資格保持者不在による報告書（大会主催者→JBA）

http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/coach_licenseStandard_report2.pdf

↓

②ゲーム開始予定時刻の**7分前**には、各コーチはチームメンバーの氏名と番号、コーチ陣の氏名を確認・同意し、スコアシートにサインをしなければならない。また同時に最初に出場する5人のプレーヤーを明示しなければならない。チームAのコーチが先にこの情報を提供する。

↓

③審判・スコアラーはスコアシートにサインをもらう際に「JBA公認コーチ証」を確認する。

↓

④コーチはサイン後、アシスタントコーチを指名し、審判・スコアラーに伝える。

↓

⑤コーチは試合中は「JBA公認コーチ証」を**ネクストラップに入れ首からぶら下げて常に掲示する。**

●コーチとは

ゲーム中、コーチは、ボールがデッドになりゲームクロックが止められているときのみ、審判に礼儀正しくコミュニケーションをとることができる。

●アシスタントコーチとは

コーチとアシスタントコーチは、一度にどちらか1人であればゲーム中に立ち続けることを認められている。チームベンチエリア内であれば、ゲーム中にプレーヤーに話しかけることができる。

アシスタントコーチは審判とコミュニケーションをとってはならない。

【補足】コーチとアシスタントコーチは、両者が同時に立ち続けることは認められない。

地域リーグ（2020年度より）

JSBでは地域リーグにおいてはアマチュアトップレベルの高いバスケットとモチベーションを維持していくために、毎年入替戦が行われる環境を作り出すこと目的とします。

運営方法について

1. チーム数

男子は9ブロック、女子は東西2ブロックとし、1つの地域リーグのチーム数は8チームを基本とする

ただし女子の東日本リーグは2020年度は東日本リーグへ参加希望全チーム（2019年度最終順位【入替戦後】の関東・東海／東北リーグ）でリーグ戦を行い、2021年度は最大12チームのリーグ戦を行う。2022年度から最大10チームによるリーグ戦を行う。

※複数のブロックをまたがった地域リーグは最大10チーム（偶数）とする。理事会の承認事項とする。

2. 試合方式

2回総当たりとし、原則土日開催とする

※土日開催での開催が不可能の場合は1日2試合も行うことも可能

3. 審判/TO

審判は3PO制とする。TOはチームで行い、TOには謝金は支給しない。

※将来的にはTOを運営側で準備する出来るようにしたい＞ 大会参加費のにて負担（増）

**JSB****JAPAN SOCIETY BASKETBALL FEDERATION**

一般社団法人 日本社会人バスケットボール連盟

地域リーグ（2019年度より）

地域リーグ加盟について

1. 募集期間

①参加を希望する年度の前年の8月31日までにJSBへ申請書提出（WEBよりダウンロード）

※7月上旬にTEAM-JBAを通じてオープンカテゴリー男女全チームに通知

※下記の直接地域リーグへ行けるブロックがあるのでHPにて告知する

2. 各都道府県リーグから地域リーグへ

①地域リーグをすでに8チームで行っているブロックは下記の条件を満たした場合にブロック入替戦へ参加できる

【推薦要件（どちらか）】 ●各都道府県の選手権予選にてベスト4位以上のチーム

●各都道府県のトップリーグ（通常は1部）でベスト4位の以上のチーム

②地域リーグを8チーム未満で行っているブロックは下記の条件を満たした場合に地域リーグへ参加できる

【推薦要件（どちらか）】 ●各都道府県の選手権予選にてベスト4位以上のチーム

●各都道府県のトップリーグ（通常は1部）でベスト4位の以上のチーム

3. 直接地域リーグへ ※各都道府県のトップリーグに参加しなくても

①チーム未満の地域リーグは直接の地域リーグへの参加ができる。

※JSBのヒアリングを行い、書類等の申請書を審議し、理事会の承認の結果、リーグへの参加を認める。

地域リーグへの不参加について

翌年度地域リーグへの参加を見送る（各都道府県リーグへの参加）場合は8/31までにJSBに申請書を提出

地域リーグ（2019年度より）

地域リーグ加盟の手順

7月上旬にTEAM-JBAを通じてオープンカテゴリー男女全チームに通知



直接地域リーグへ行けるブロックがあるのでHPにて告知する

参加を希望する8月31日までにJSBへ申請書提出（WEBよりダウンロード）



書面にてJSBへ郵送にて提出（自署・捺印が必要）

JSBより各都道府県（以下PSB）へ連絡する。PSBはチームにヒアリングし10月15日までにPSBの理事会にて地域リーグへの推薦を承認し、JSBに報告する。



ヒアリングは①チームの品格（ゲーム中の態度、運営への協力、大会の締めきりを等の事務手続きがしっかりしているか？）②地域リーグのチーム要件（コーチライセンス、選手の戦力）を確定しているか？③チームの経済状況など、地域リーグへの参戦できる体力があるか？の確認し、PSBの責任でJSBに推薦する。

JSB競技会委員会にてチームを審査し、JSB理事会（12月14日予定）へ推薦。



チームはJSBの承認+大会の成績（トップリーグor選手権ベスト4）の両方の基準をクリアで地域リーグ入替戦／ブロック決定戦へ出場可能

地域リーグ（2019年度より）

地域リーグ加盟チーム審査について

1. チーム審査について

①2020年度参加する全チームを対象に12月31日までにJSBへ各種書類を提出し、競技会委員会で審査し、理事会で承認する。

※審査スケジュールに関しては現在競技委員会で審議中

2. 各種提出書類

①リーグ戦のみの決算（見込み可）※翌年4月末日に全決算を提出

②次年度予算

③年間事業報告（練習ゲームや遠征報告）

④チーム経歴書（選手経歴・スタッフ経歴）

⑤各都道府県推薦書（毎年）

⑥B3参加意思調査表

など

※各種提出書類の内容に関しては現在競技委員会で審議中

各種書類の提出はチームの財務処理・事務処理等の健全さや信頼性を確認するため、予算の大小（資金の充実）を審査するものではない。地域リーグに参加するチームとしての品格を審査するためである。

3. その他

オープンから地域リーグへの参戦予定チームも各種書類を提出。

地域リーグ（2019年度より）

入替戦について

1. 入替戦（最大2チーム入替）

- ①地域リーグ最下位とブロック入替戦1位・地域リーグ下位2位のチームとブロック入替戦2位はノックアウト方式の入替戦を行う。
- ②地域リーグへの参戦希望チームが1チームの時は地域リーグ最下位チームとのノックアウト方式の入替戦を行う。

2. ブロック決定戦

- ①ブロックにて決定戦を行い上位2チームを決定する。
 - ※ブロックの上位2チームの決定方法は原則ノックアウト方式するが3チームの場合はリーグ方式でも可能。
 - ※ブロック決定戦の運営方法に関してはブロックに任せる
 - ※ブロック決定への各都道府県からの推薦チーム数はブロックに任せる。

B3からの降格対応について

B3からチームが降格してきた場合

原則として地域リーグで受け入れ、1年間は変則チーム数での開催を認めます。
次年度からチーム数8になるように調整する（最大3チームが都道府県リーグに降格）

**JSB****JAPAN SOCIETY BASKETBALL FEDERATION**

一般社団法人 日本社会人バスケットボール連盟

チャンピオンシップ（2020年度より）

運営方法について

①男性

28チームによるトーナメント方式

前年度ベスト4のチームのブロックに出場枠を与える（シード枠となる）
3位決定戦は行わない

②女性

8～12チームによるトーナメント方式

前年度優勝・準優勝のチームのブロックに出場枠を与える（シード枠となる）
※チーム数が確定しない間はシード枠を含め競技委員会最終的な出場枠数を決定します。
3位決定戦は行わない

③大会日数

3日間で終わる大会運営（地元運営負担削減）